

白山市立博物館博遊会だより

# 白山博遊

## 目次

- 1 白山信仰講座
- 2 研修旅行
- 3 春のぶらり散策
- 4 長月コンサート
- 5 秋のぶらり散策・晩秋のぶらり散策
- 6 令和6年度事業計画
- 7 会員募集

第12号 令和6年3月31日発行／白山市立博物館友の会（博遊会）平成15年発足  
事務局 白山市立博物館内 〒924-0871 石川県白山市西新町168-1 ☎ 076(275)8922



○前期講座 白山信仰「白山曼荼羅の世界」 小阪大氏  
(市学芸員) 4月15日(土) 千代女の里俳句館 参加者23人

令和5年度は「白山信仰」をテーマに講座を企画しました。前期講座は小阪大氏を講師に迎え開催しました。

「白山曼荼羅」には、白山中宮から加賀禅定道を経由して白山山頂に至る道中に存在した堂社や伝説が描かれています。この曼荼羅を使って「絵解き」と呼ばれる解説がされました。例えば、瀬戸（尾口地区瀬戸）の「酒売り老婆」、二曲（鳥越地区出合一向一揆歴史館近辺）の「色良き女」の話など、

興味深く解説され、楽しいお話に惹きこまれました。

泰澄が座して朝日を礼拝する「朝日之窟」、翠ヶ池の淵で加持祈禱する「緑ヶ池」、「千蛇ヶ池」で泰澄と行基（奈良の僧）が会う様子など、この白山曼荼羅は実に正確に白山の登山道の見どころを捉えており、現在でもこの曼荼羅を持って禅定道を歩くと、かつてのように社祠や室堂の跡、名所・旧跡が手に取るように非常によくわかるとのことでした。

○後期講座 白山信仰「記録にみる白山下山仏」

村上和生雄氏(市学芸員) 7月15日(土)

千代女の里俳句館 参加者22人

後期講座は村上和生雄氏に白山下山仏が白山から下山することになった経緯や下山の経過などについて紹介いただきました。

白山下山仏とは、明治7年(1874)、白山山頂付近や禅定道に安置されていた仏像などを下山させ、

尾添区(白山市尾添)と白峰の林西寺に安置することになった仏像群のことをいいます。これらの仏像群は今でも大切に祀られています。講座では、まず白山下山仏を写真で紹介した後、江戸時代の「登山記」に記された白山の仏像などを解説され、「登山記」などには登山者が実際にみた情景が記録され、白山下山仏には含まれていない仏像等もあったことなどを紹介されました。いまでは見るできない仏像などの様子はとても興味深いものでした。続いて白山下山仏の下山処理などを、「白山下山仏一件」、「白山復古記」などの記録をもとに説明していただきました。白山下山仏の下山処理は詳しく記録されており、その経過を知ることで白山における神仏分離の歴史について、その一端に触れるよい機会となりました。



## ○研修旅行 「越前三方五湖方面」

5月17日(水) 参加費 4,000円 参加人数 22人

若狭国吉城歴史資料館では、古文書・発掘調査出土品・旧田辺邸座敷など、450年に及ぶ歴史に触れることが出来ました。佐柿町は織田信長が国吉城に入城以降に丹後街道の宿場町として栄えて来た信長縁の場所。昼食は海を眺めながら千鳥苑で美味しく頂きました。

好天の中、レインボーラインをバスにて上り、頂上へ。車窓から三方五湖のゆったりと横たわる雄大な五つの湖の姿を一望し、気分はとても豊かになりました。

福井県年縞博物館では、三方五湖の一つ「水月湖」で掘削された「年縞」を見学しました。7万年間の年縞を形成した環境や年代測定のものさしの基準など、これまで知らなかった地質学や考古学での貴重な研究を知る良い機会となりました。

天徳寺太子堂石仏には八十八体の石仏があり、山間の岩間から湧き出る「瓜割の竜」は名水百選に選定されています。ミネラルウォーターを口に含みながら、「若狭は歴史と自然溢れる仏の住む街」と感じる、そんな一日でした。



## ○春のぶらり散策 「越中五箇山方面」

6月30日(金) 参加費 4,000円 参加人数 21人

当日は午前中穏やかな天候で、相倉集落では秋篠宮皇嗣殿下ご一家がお泊りになった所を見学しました。ガイドに案内され、合掌造り集落の内容や形式などを細かく説明をしていただき、大きく関心を寄せながら見学をしました。

昼食は、五箇山地方の新鮮な山菜と堅豆腐を使った料理。白山麓文化圏の、白峰や白川郷と同じ食文化を感じながら美味しくいただきました。

国指定重要文化財村上家では、加賀前田家百万石の中で硝石の生産地としての微妙な立場と、流刑地としての奉行所の存在について学び、五箇山と山岳生活や養蚕産業における用具の展示を見学しました。

昔懐かしい大きな囲炉裏の傍でご主人がササラを手に持ち、無形文化財「こきりこ節」の舞をカラオケ曲に合わせて舞い踊られました。

近くにあって日頃行こうとは思わない場所と思い参加しましたが、楽しむことができました。

## ○長月コンサート 9月9日(土) 19時～ ナイトミュージアム 来場者 67人

五重奏の奏者は、フルート/石田美結さん オーボエ/今井利恵さん ヴァイオリン 1/池田恵美さん ヴァイオリン 2/中島由貴さん ピアノ/棒田美江さんの5名。今回は夜の演奏会でしたが、お子さんを含め、多くの皆さんに参加していただき開催されました。

演奏曲は、歌劇「こうもり」より(J.シュトラウス)、ワルツ 南国のバラ (J.シュトラウス)、歌劇「トゥーランドット」誰も寝てはいけない(プッチーニ)、ブラームスの子守歌~ワルツ(ブラームス)の他10曲。演奏を聴き、来場者皆さん素晴らしい笑顔になりました。



## ○秋のびらり散策 「白山市立博物館等展示施設 国民文化祭特別展等見学」

10月18日(水) 参加費 3,000円 参加人数 16人

“いしかわ百万石文化祭 2023”にあわせて企画された市内の文化施設の関連特別展・企画展を一日で見学しました。まず初めに、群雄割拠の戦国時代に一世紀にわたり栄えた「百姓の持ちたる国」加賀一向一揆を今に伝える鳥越一向一揆歴史館を見学。

次に白山比咩神社宝物館では、神仏習合で40棟余りの神殿仏閣が立ち並んでいた、当時の隆盛を感じられました。白山登拝の意義を説き、白山信仰の一部が窺える「白山記」、一部が焼け焦げていた「三宮記」などを拝見しました。館で一際異彩を放つ「狛犬」は、奥州藤原秀衡の寄進と言われる傑作でした。石川ルーツ交流館では明治初期の石川県庁など、歴史を刻む資料が展示されていました。午後からは、千代女の里俳句館「西のぼるが描く美のかたち」、市立博物館「白山への道～白山下山仏と禅定道～」、松任中川一政記念美術館「百花繚乱・芸術の魅力とその生き方」と、三館三様の文化を見学しました。



## ○晩秋のびらり散策 「津幡・南砺市方面」

11月29日(水) 参加費 3,000円 参加人数 22人

加賀・能登・越中の三叉路を望む高台の津幡城址に位置する津幡ふるさと歴史館では、国重要文化財である加賀郡榜示札(レプリカ)など、縄文時代から現代までの津幡町の歴史についての常設展示を見学。展示物に触れての学芸員の説明が判り易く新鮮でした。

俱利伽不動寺(俱利伽羅不動尊)は高野山真言宗の寺院。開山1300年の古刹不動霊場で、前田家の造詣が深く参勤交代時も参拝があり多大な支援を得ました。津幡町のボランティアガイドが案内してくれました。

昼食をいただき、真宗大谷派井波別院瑞泉寺へ。瑞泉寺は、明德元年(1390年)本願寺第5代綽如が建立、越中一向一揆の本山となり天正9年(1581年)佐々成政の軍勢に焼討ちされ堂宇等を焼失。再建時に京都の彫工が井波の人達を助手として伽藍の彫刻を制作しました。山門正面の彫刻は見どころの一つで、見る人を圧倒させるほどの迫力でした。



## 白山市立博物館友の会 博遊会(はくゆうかい)について

### ◆事業協力

博遊会では、白山市立博物館・千代女の里俳句館・松任中川一政記念美術館の事業実施時の作業協力、展示・講座への参加協力等を行っています。

### ◆希望調査

博遊会では、年に数回、事業実施中に会員からアンケートを取り、その結果を次年度の事業計画に反映しています。

### ◆会員特典

会員は、白山市立博物館・千代女の里俳句館・松任中川一政記念美術館の入館料が無料です。(特別展を除く)

## ◎令和6年度の事業計画（予定）

※参加費は昼食代込

### ①総会・春の研修会

期日 4月20日（土）午前10時～  
演題 「家から見る前田家」  
講師 宮下和幸氏（金沢市立玉川図書館近世史料館学芸員）  
場所 千代女の里俳句館 研修室  
受講料 会員無料 一般500円

### ②研修旅行「前田家支藩七日市藩の陣屋と黒門・富岡製糸場」

期日 5月8日（水）  
参加費 25,000円  
定員 上限なし  
講師 施設職員

### ③春のぶらり散策「金沢城二ノ丸御殿再現建設現場

・兼六園成巽閣・いしかわ生活工芸ミュージアム  
（石川県立伝統産業工芸館）」

期日 6月28日（金）  
参加費 3,000円程度  
定員 22名程

### ④夏の研修会

期日 7月20日（土）午前10時～  
演題 「未定」  
講師 徳井学芸員（松任中川一政記念美術館）  
場所 未定  
受講料 会員無料 一般500円

### ⑤長月コンサート

期日 9月7日（土）午前10時半～  
出演 未定  
場所 博物館 エントランスホール  
入場料 入館料200円が必要  
（会員は会員証提示）

### ⑥秋のぶらり散策「富山市郷土博物館・池田屋安兵衛商店・富山県水墨美術館」

期日 10月18日（金）  
参加費 3,000円  
定員 22名程

### ⑦晩秋のぶらり散策「小松城天守台と大聖寺方面」

期日 11月5日（火）

（継続ご案内時の計画表より日程が変更されました）

参加費 3,000円程度  
定員 22名程

### ⑧令和6年度新年のつどい

令和7年 2月中旬頃

※各事業につきましては、期日が近づきましたら  
その都度詳細をお知らせします。

（ぶらり散策は人気のため、申込期間をご確認の上、  
お早目にお申込みください）

### 白山市立博物館友の会（博遊会）会員募集！

博遊会では、上記のとおり、年2回の講座（研修会）、研修旅行1回・ぶらり散策3回の年4回の小旅行と、年1回の音楽会（コンサート）と懇親会を計画しています。自分のペースで無理なく参加できますので、お気軽にご入会ください。☆年会費…会員2,000円・家族会員1,000円



### 《問い合わせ・申し込み先》

白山市立博物館友の会（博遊会）  
白山市立博物館内博遊会事務局  
住所 白山市西新町168番地1  
電話 076（275）8922